

各推進委員がこの秋行われた各種イベントをレポートします

☆ 11月3日文化の日「阿山町けんずいまつり2001」レポート

(阿山町ふれあい公園)

前日準備は晴天に恵まれ気分も上々…しかし！当日は朝からどしゃ降りの雨！晴れの特異日のはずが、なんと10年に一度の雨天に… (Kの心がけ反省_(._)_)

しかし、そんな天候にも負けずお客さんはどんどんやってきてくれました。(うれしい!(^^)!)
この日はテントブースでチャレンジショップ開店！阿山町の伊賀焼博物館「長谷園」の伊賀焼の実
●紹介・名張市の栗羊羹博物館「大和屋」の栗羊羹と名張市のまち博の東海松池酒博物館をはじめとする酒蔵さん6件の清酒をセットにした「名張酒蔵めぐり」(箱にまちかど博物館のイラストマップが描かれています)の紹介と販売をさせていただきました。

更に、上野市の博物館「絵手紙いろは」の森田館長さんによる絵手紙体験コーナーの開設、まち博イラストマップの原画展(中盛 汀さん)による町内博物館の紹介などを行いました。

当日午前と午後の2回、まち博めぐりバスツアーを実施し、阿山町の長谷園(長谷館長)とギャラリー30(上●館長)を巡りました。町内の方を中心に約60名(満員御礼m(_ _)m)がツアーに参加していただきました。『地元をあらためて訪ねてみると新鮮でよかった』という声や、『館長さんの話を聞いて、まちの地場産業の歴史が垣間見れたのと同時に自分のまちのことを知らないことが多いことに気がつきました』という声も。。(阿山町は特に伊賀焼の窯元さんの博物館が多く、伊賀焼の里・阿山町を見直すにも窯元の館長さんたちのお話はとても貴重なんですよ。)

裏面へつづく



雨で飾った阿山町でのイベントデビューでしたが、またみなさんのいい笑顔に出会えてうれしく
思っています。来年もさらにいろんな形で交流を楽しんでいただけるよう館長さんとともに企画を
させていただきたいと考えていますので、またご協力よろしく申し上げます！ (K)

☆11月11日(日)「青山町ふれあいフェスタ」レポート

(桐ヶ丘タイヤ公園)

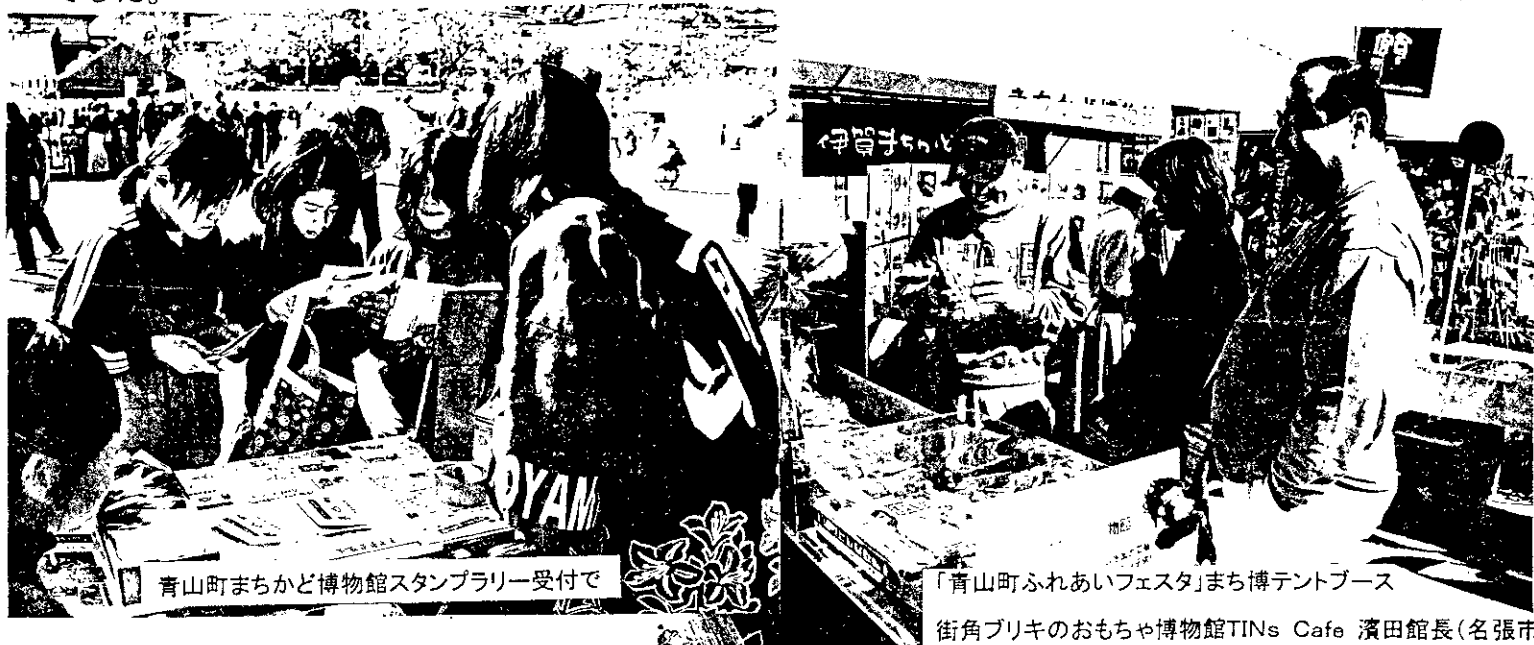
1週間前の「けんずいまつり」の荒天とはうってかわって、晴天に恵まれた小春日和の1日でした。

まちかど博物館では、「まちかど博物館・歴史街道スタンプラリー」と題して、町内の五つの博物館と大村神社(宝殿は国宝、虫喰い鐘は日本三大奇鐘の一つで有名)、息速別命(いこはやみこ)の墓の二つの名所・旧跡、計七つの場所をラリーポイントとして、巡っていただきました。

またメイン会場では、お隣の名張市の街角ブリキのおもちゃ博物館「tins cafe」の濱田さん

応援に来てくださり、コレクションの展示や、まちかど博物館の紹介コーナーと終日賑わいました。
スタンプラリーでは、スタンプを集めるのが主となり、本来のまちかど博物館の巡り方とはやや異なりましたが、各館長さんをはじめご家族の方に温かく迎えていただき、ありがとうございました。

参加者は親子連れも多く、ゴール後の表彰式、すべて巡っていただいた方には「まちかど絵はがき」などの素敵な賞品。また、各まちかど博物館が提供されたグッズなどの抽選会などもあり、大変盛り上がり成功裏に無事イベントを終えました。ご協力いただいたスタッフの皆さんご苦労さまでした。(H)



☆11月17日(土)、18(日)「上野市制60周年記念事業 フリーウォーキングツアー・ミニバスツアー」レポート

(上野市内及び周辺市町村)

フリーウォーキングツアーは、当日受付方式で気軽に参加していただきました。17日が14

5人、18日が88人、計233人の参加がありました。

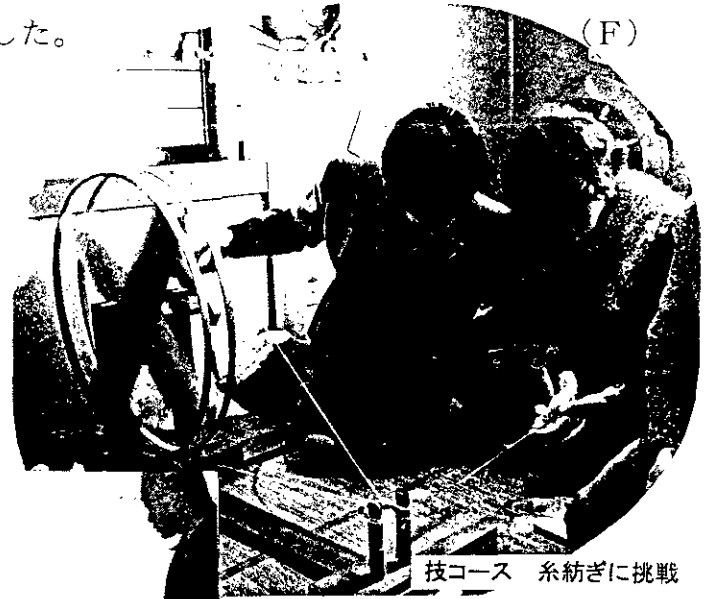
市内中心部の館を歩いて巡るために、各館を俳句で紹介したスペシャルマップを用意して、参加者に配布し、要請があればスタッフがついて案内しました。

ミニバスツアーは、10人乗りのワゴン車を使用し、スタッフが運転手とガイドとしてついて巡る文字通り1コース8人のコンパクトなツアーです。伊賀まちかど博物館と伊賀地域の魅力を満喫していただきました。

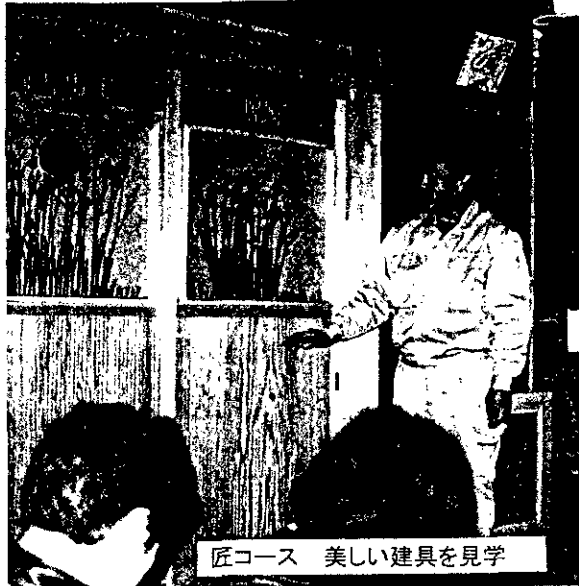
今回は、各コースに特徴を持たせて「炎・匠・技・趣・語」の5コースで上野市内をはじめ阿山町、伊賀町、名張市、島ヶ原村の博物館を回りました。2日間ともお客様に答えてもらったアンケートでは「楽しかった 100%」というような結果となり、改めて、伊賀まちかど博物館ならびに伊賀地域の魅力を感じました。

お世話になった館長の皆さん、ありがとうございました。

炎コース 伊賀焼体験



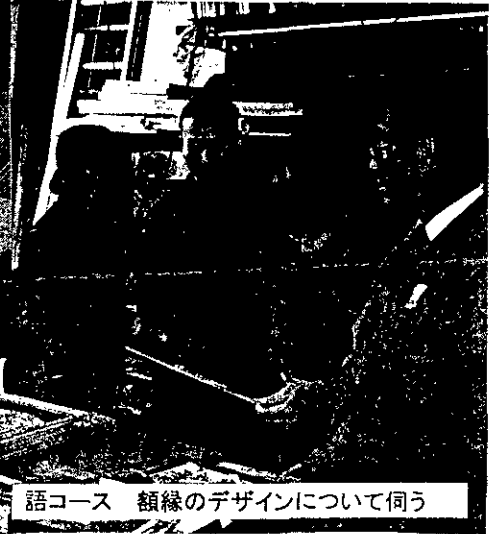
技コース 糸紡ぎに挑戦



匠コース 美しい建具を見学



趣コース 色とりどりの盃洗



語コース 額縁のデザインについて伺う

☆ 伊賀まちかど博物館お酒セット登場！

名張の造り酒屋のまちかど博物館6館の300ml入り6本セット「名張酒蔵めぐり」が登場しました。(税別2,500円) パッケージには博物館のイラストと地図が入っています。これからの年末、お正月と、この6本を楽しんでみるのもいいかも。



館長からのメッセージ その九

都美恵窯博物館

館長 富山善夫

お正月に恒例の陶展をします。期間は1月2日～7日まで。(4日は休み)今回は目玉として信楽と利川に関わった「壺」二つの展示をします。是非お越し下さい。

～ 南北統一の壺もの語り ～

「世界陶磁器エキスポ2001大韓民国」会場の一つであった利川(イチョン)市で、地元の陶芸家達と故三木武夫首相夫人の睦子さんが中心となって、今年9月13日に朝鮮半島の南北の土を使った「南北統一の壺」を制作した。10年前の最初からこの「壺」づくりに関わってきた私には、信楽高原鉄道事故とこの11日に生じた米国テロ事件とによって、より一層思い出に残るイベントとなってしまった。

90年12月、日本に関係する人たちによる異業種交流会がニューヨークで開催され、南北コリア統一のための芸術運動が企画された。

91年1月、信楽世界陶芸祭に世界平和を願って、「南北交流の壺」の企画案が出され、特別枠の5月26日のファイナルイベントで国際連合と信楽町へ寄贈と決定した。事務局を担当していた大阪市生野区在住の洪彦義(ホン オニ)さんが91年早々に三重県伊賀町の私の陶房に来られ「壺」の制作を依頼された。

だが91年5月14日に起こった信楽高原鉄道列車事故で、世界陶芸祭そのものが中止となってしまい寄贈は延期となった。しかし同年10月、私が二個制作した「壺」の一方は、国際連合東京事務所での寄贈となった。

95年9月には、東京の三木武夫記念館でも「壺」イベントを開き、11月には「南北交流の壺フォーラムin信楽」を開催し、三木睦子さんに特別講演をしていただき、ようやく第二作の壺を信楽町に寄贈した。

今年の「世界陶磁器エキスポ2001大韓民国」に「壺」の再現を何とかできないかと考えた洪彦義(ホン オニ)さんは、「南北統一の壺」と名称のバージョンアップをして2000年に企画を練った。そして三木睦子さんを団長とする「南北統一の壺作陶会」(顧問 國弘 正雄さん 元三木内閣 外務担当 元参議院議員)を日本で立ち上げ、GESTに保坂展人(社民党衆議院議員)さんらを交えて、私がスタッフの一員として今回参加した。

エキスポは10月28日まで開かれ「壺」が韓国の陶芸家の窯から出て、最後の大きなイベントとして、有終の美を飾ったと言うことだ。

日本では11月28日に、三木武夫記念館で「壺」のお披露目会が執り行われた。

つみえがま 都美恵窯陶展 2

《期間》 平成14年1月2日(水)
～ 1月7日(月) ※ 1月4日は休館

《時間》 午前10:00 ～ 午後6:00

《場所》 阿山郡伊賀町柘植町2226 都美恵窯 陶房
TEL&FAX 0595-45-4479 E-mail:tumiegama@hotmail.com
<http://homepage1.nifty.com/tumiegama/>



連絡先 三重県生活部文化課 TEL 059-224-2637